



横浜市立富岡小学校

学校だより5月号



みんなが安心して過ごすために～あいさつを大切に～

校長 浅野 修一

一日の始まりの朝、子どもたちの明るい笑顔とあいさつに出会うと、さわやかな気持ちになり、心が温まります。にっこりと笑う笑顔というものは、美しいものです。また、笑顔は私たちが社会生活をしていくうえでたいへん大事なものだと思います。心の底から出てくる笑顔や心の温まる本物の笑顔は、人から人へ伝わっていき、連鎖反応を起こしてこの世の中を明るくしていくのではないのでしょうか。

富岡小学校でも、子どもたちの大きな声と、にっこり笑顔のあいさつは、学校を明るくしてくれています。交わすあいさつは、相手を認めている大切なシグナルです。あいさつが返ってこないとか私のことを気に留めてくれないのかな？>と不安になります。同様に、「ありがとう。」「どういたしまして。」は互いの行為に対する感謝と敬意を、「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」は道中の安全を願う気持ちとそれに対する感謝を、「さようなら。」「また明日。」は今日の別れと明日の希望のやり取りを、それぞれ表していると思います。これからも、もっともっと心のこもったあいさつができる富岡の子どもたちが増えることを願っています。

新年度も1ヶ月が過ぎようとしています。入学してからこれまでの間、「エプロン隊」の皆様が、毎日1年生をサポートしてくださいました。初めての学校生活をスタートさせた1年生ですが、今では緊張も和らぎ、楽しそうに過ごしている場面を多く見ることができるようになったのも、エプロン隊の皆様のお力添えがあったことが大きいと思います。心から感謝申し上げます。また、6年生も昇降口から1年教室まで送ってあげたり、教室内で1年生の荷物整理やロッカーにランドセルをしまう手伝いをしてくれたりと力を貸してくれました。ありがとうございました。1年生が6年生と話したりじゃんけんしたりしている姿を見ると、こちらもうれしくなります。これから6年生は、卒業まで1年生とかかわることが多くあるかと思っています。6年生の活躍を期待しています。

明日からゴールデンウィークがスタートします。学校は5月1日、2日が授業日となっており9連休とはなりません。ぜひこのお休みを有意義に過ごしていただければと思います。あわせて、くれぐれも事故や事件に巻き込まれることのないよう、お子様の健康や安全にご留意いただければと存じます。5月8日の月曜日、子どもたちの明るい笑顔とあいさつに出会えることを楽しみにしています。

ゴールデンウィークが明けると、全国的に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類から季節性インフルエンザと同等の5類に変更されることが正式に決定いたしました。学校の教育活動を行う上でも新たな段階に入ります。これまでと同様に市教育委員会からの通知に従って、子どもたちの健康と安全を第一に取り組んでまいります。さらに富岡小学校の教育活動については、単にコロナ禍前に戻そうとするのではなく、コロナ禍から学んだ有効な学習手段や行事のあり方などを比較検討しながら、よりよい活動となるよう改善しながら進めてまいります。

地域、保護者の皆様のご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。